

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター ひまわり学園		
○保護者評価実施期間	令和7年11月28日		～ 令和7年12月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数) 12名
○従業者評価実施期間	令和7年11月28日		～ 令和7年12月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○訪問先施設評価実施期間	令和7年11月28日		～ 令和7年12月19日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育所等訪問支援の経験が5年以上ある支援員が支援に入っていること。	訪問先の状況を踏まえながら、見本等示しながら具体的にアドバイスさせていただけるよう意識して取組んでいます。	自己研鑽も含めながら、さらなる専門性向上に努めています。
2	訪問支援員が公認心理師であるため、必要に応じて発達検査を事業所でとることができ、ご本人の特性に合わせた支援を組み立てることができること。	・病院等、当センター以外で実施された検査結果等についても、ご家族から提出いただいたものは支援に活かしております。 ・ご家族が発達検査について悩まれたときには、ご相談に応じております。	継続して取り組んでいきます。
3	児童発達支援センター本体や、相談支援センターと連携し、併用利用しているお子さんについて情報共有を行いながら連携を図ることができること。	・園で困っていることを児童発達支援センター本体の小集団療育で取り入れてもらう等の連携ができています。	引き続き、必要なお子さんには連携をはかっていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等訪問支援に関する情報発信不足。	具体的な保育所等訪問支援に関する説明資料がない。	保育所等訪問支援に関する説明資料の作成。
2	保育所等訪問支援での訪問人数・回数に限界がある。	訪問支援員が1名配置であること。	人材育成の検討・実施。
3			